平成25年司法試験
受験願書の記入要領

司 法 試 験 委 員 会

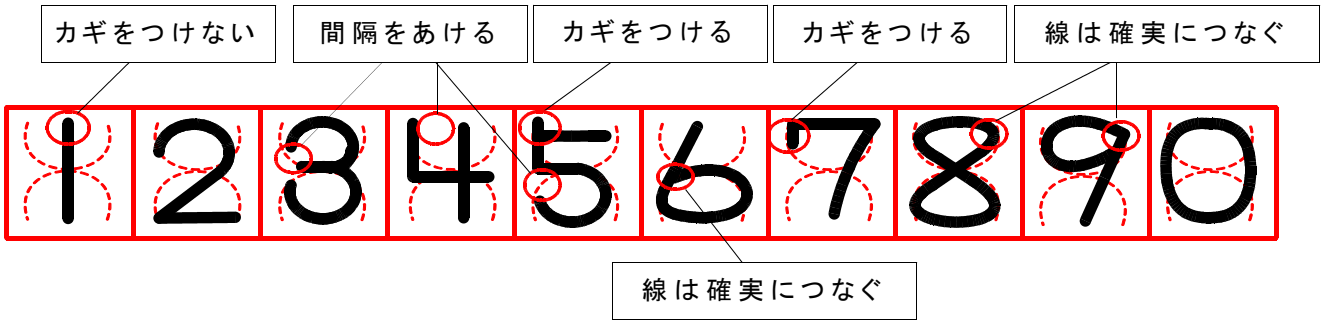
※　受験願書は電子計算機で処理します。“不備願書”は受理せずに返却することとなりますので，記入に当たっては，この記入要領，受験案内，記入例をよく読み，正しく記入してください。なお，記入内容に誤りがあった場合，司法試験法第10条に規定する不正受験とみなされ，合格の取り消し等の処分を受けることがありますので十分に注意して記入してください。

注意事項

○　受験願書は，出願日現在で正確に記入してください。
○　受験願書は，司法試験委員会が交付する平成25年司法試験の受験願書以外は使用できません。
○　受験願書は，黒インクのボールペンを使い，各項目欄に漏れなく，楷書で正確かつ丁寧に記入してください。正確かつ丁寧に記入していない場合は，電子計算機で正しく読みとれず，誤った情報が入力される場合があります。
○　各項目欄は左詰めで記入してください。
○　記入した事項（数字記入欄含む。）を訂正する場合には，誤った事項を二重線「＝」で抹消し，その上又は横に書き直してください（修正液や修正テープ等は使用しないでください。訂正の文字は各項目欄の枠からはみ出ても差し支えありません。）。訂正印を押す必要はありません。

数字は下記の記入例を参考に算用数字で，年は和暦により記入してください。

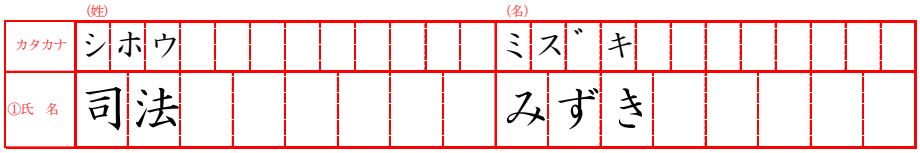
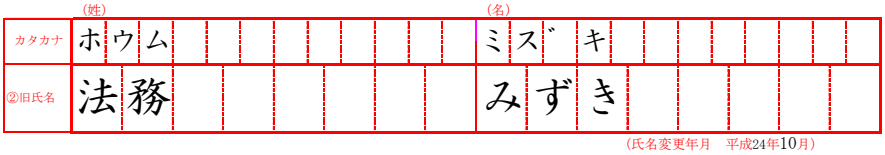
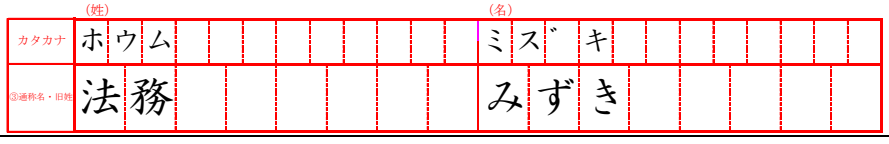
【記入例】



目　次

①氏名　②旧氏名　③通称名・旧姓……1
④本籍地又は国籍……2
⑤生年月日　⑥性別　⑦住民票コード……3
⑧職種コード……4
⑨受験資格等……5
⑩法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する者……7
⑪法科大学院受験資格証明……9
⑫司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する者……10
⑬受験者ＩＤ　⑭司法試験受験回数……11
⑮希望試験地　⑯受験特別措置の希望　⑰選択科目……12
⑱写真貼付欄　⑲郵便物送付先住所欄　⑳連絡先欄……13
収入印紙貼付欄　受験願書記入例……14

①氏名　②旧氏名　③通称名・旧姓

①　氏名	次のとおり，氏名を記入してください。 上欄には，氏名の読みをカタカナで記入します。濁点・半濁点は１字としてください。 下欄には，漢字氏名を記入します。漢字氏名は楷書で，戸籍等に基づいて正確に記入してください。なお，平仮名等を含む場合は，濁音・半濁音の文字は１字として１マスに記入してください。 ※　受験者への通知，官報公告等においては，JIS（日本工業規格）第２水準までの漢字を使用し，それ以外の文字（いわゆる外字等）については，JIS第２水準までの漢字に置き換えるか，カタカナ等で表記する場合があります。 **【記入例】** 氏名　司法みずき（シホウミズキ）の場合 
②　旧氏名 （該当者のみ）	次に該当する場合は，旧氏名及び変更の年月を記入します。 氏名変更等の経緯が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。 ア　過去に司法試験，平成16年度以降に実施された旧司法試験第二次試験又は司法試験予備試験に出願した者で，最後の出願時の氏名と現在の氏名が異なる場合 ※　「出願した者」とは，実際に受験していない出願のみの者も含みます。 ※　最後の出願以降に，現在の氏名への変更届を提出している場合は不要です。 イ　法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する者で，法科大学院において使用していた氏名と現在の氏名が異なる場合 ※　過去に当該受験資格に基づき司法試験に出願した者で，当該出願の際に受領した「受験資格確認通知書」記載の受験者ＩＤを「⑬　受験者ＩＤ」欄に記入した場合は不要です。 **【記入例】** 平成 24 年司法試験に出願した者が，平成 24 年10月に戸籍上の氏名「法務みずき（旧氏名）」を「司法みずき（現氏名）」に変更した場合 
③　通称名・旧姓 （該当者のみ）	次に該当する場合は，使用を希望する通称名又は旧姓（戸籍上の旧氏名）を記入します。 ア　日本国籍を有しない者で，通称名による受験を希望する場合（通称名が記載された住民票を提出してください。）。 イ　旧姓（戸籍上の旧氏名）による受験を希望する場合（氏名変更等の経緯が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。）。 ※　通称名又は旧姓による受験を希望した場合は，受験者への通知（受験資格確認通知書を除く。），官報公告等における氏名は通称名又は旧姓となりますが，合格証書については戸籍等に基づく氏名が記載されます。 **【記入例】** 戸籍上の氏名は司法みずきであるが，法務みずき（旧姓）による受験を希望する場合 

④本籍地又は国籍

④　本籍地又は国籍	本籍地又は国籍を下の【本籍地・国籍コード表】から選択し，該当するコード及び都道府県名等を記入します。 なお，日本国籍を有しない者は，コード欄に「５３」を記入し，「本籍地又は国籍名」欄に国籍名を記入します。 **【記入例1】** 本籍地が「神奈川県」の場合 **【記入例2】** 国籍が「大韓民国」の場合

本籍地・国籍コード表

本籍地・国籍	コード
北海道	01
青森県	02
岩手県	03
宮城県	04
秋田県	05
山形県	06
福島県	07
茨城県	08
栃木県	09
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
三重県	24

本籍地・国籍	コード
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山県	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47
日本国籍以外	53

⑤生年月日　⑥性別

⑤　生年月日 ⑥　性別	次のとおり，生年月日・性別に関する事項を記入します。 ア　【生年月日】欄 生年月日を和暦で記入します。 「元号」欄には，元号を下の【元号コード表】から選択して，該当するコードを記入し，「年」「月」「日」欄にはそれぞれ該当する算用数字（記入数字が１桁の場合は先頭に「０」を付与）を記入します。 イ　【性別】欄 性別を下の【性別コード表】から選択し，該当するコードを記入します。 **【記入例】** 昭和６２年１０月１日生の男性の場合

⑤生年月日	元号	年	月	日	⑥性　別	コード
	S	62	10	01		1

元号コード表

元号	コード
大正	T
昭和	S
平成	H

性別コード表

性別	コード
男性	1
女性	2

⑦住民票コード

⑦　住民票コード	**【住基ネットに参加している市区町村の場合】** 各市区町村から配布された住民票コード（１１桁）を記入してください。住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）による確認を行いますので，住民票の提出は不要です。 住民票コードの確認方法については，お住まいの市区町村にお問い合わせください。 **【住基ネットに参加していない市区町村の場合及び外国籍の場合】** 本欄には何も記入せず，必ず住民票を提出してください（受験案内２ページ「２提出書類（２）添付書類」を参照。）。 **【記入例】**

⑦住民票コード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1

⑧職種コード

⑧　職種コード	職種を下の【職種コード表】から選択し，該当するコードを記入します。 なお，受験時ではなく，出願時を基準とします。 **【記入例1】** 平成 25 年 3 月に法科大学院の課程を修了する見込みである場合 **【記入例2】** 平成23年 3 月に法科大学院の課程を修了し，現在，会社員である場合

職種コード表

職　　種	コード
公務員（教職員を除く。）	01
教職員（公立・私立を問わない。）	02
会社員（役員を含む。）	03
法律事務所事務員	04
塾教師（家庭教師はコード10（その他））	05
自営業（農林漁業を含む。）	06
法科大学院生	07
大学院生（法科大学院生を除く。）	08
大学生	09
その他（独立行政法人職員等を含む。）	10
無職（アルバイトを含む。）	11

⑨受験資格等

⑨　受験資格等

次のとおり，受験資格等に関する事項を記入します。

ア　「コード」欄には，今回の出願の根拠となる受験資格を下の【受験資格コード表】から選択し，該当するコードを記入します。

なお，法科大学院課程修了と司法試験予備試験合格の両方の受験資格を取得している場合は，いずれの受験資格に基づいて出願するか（「１」，「２」又は「３」）を選択し記入します。

ただし，過去に司法試験を受験した者は，その受験に係る受験資格について司法試験法（以下「法」という。）第４条に定める期間を経過しない場合は，他の受験資格で受験できません（受験案内 11 ページ「参考２　受験資格」を参照）。

イ　「年」「月」欄には，今回の出願の根拠となる受験資格を取得した年月（法科大学院修了見込者は修了見込年月）を記入します。

なお，「コード」欄に「３」を記入した場合は，法科大学院修了見込年月を記入します（司法試験予備試験合格の年月は記入しません。）。

ウ　**「資格回数」欄には，今回の出願の根拠となる受験資格と異なる受験資格で司法試験を受験したことがない場合は「１」，今回の出願の根拠となる受験資格と異なる受験資格で司法試験を受験したことがある場合は「２」を記入します**（以前に取得した法科大学院課程修了の受験資格の受験について，法第４条に定める期間が経過し，新たに別の法科大学院課程修了又は司法試験予備試験合格の受験資格に基づいて出願する場合は「２」と記入します。）。

なお，旧司法試験については考慮しません。

※　「資格回数」欄に記入する回数は，司法試験を受験した回数ではありません（受験回数は「⑭　司法試験受験回数」欄に記入します。）。

受験資格コード表

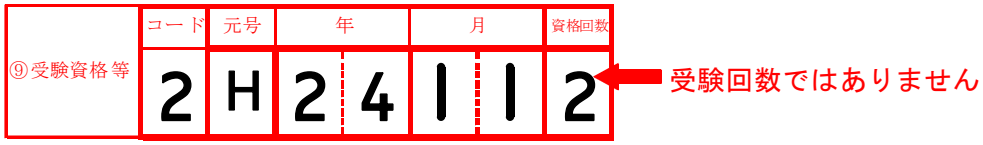
受験資格	コード
法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する場合	1
司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する場合	2
法科大学院課程修了見込者で，平成２４年度中に法科大学院課程を修了したときは法科大学院課程修了の受験資格に基づき，同課程を修了できなかったときは司法試験予備試験合格の受験資格に基づき受験することを希望する場合	3

【記入例1】

平成２３年３月に法科大学院を修了し（１回目の受験資格取得），平成２３年及び２４年司法試験を受験した場合

⑨受験資格等	コード	元号	年	月	資格回数
	1	H	2 3	0 3	1

← 受験回数ではありません

⑨　受験資格等	**【記入例2】** 平成１８年３月に法科大学院課程を修了し（１回目の受験資格取得），司法試験を受験。更に平成２４年１１月に司法試験予備試験に合格し（２回目の受験資格取得），同試験合格の受験資格に基づいて出願する場合。 

⑩法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する者

※　「⑨　受験資格等コード」欄に「１」又は「３」を記入した方のみ記入

⑩　法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する者	次のとおり，法科大学院に関する事項を記入します。 ア　上欄に，法科大学院の修了年月（修了見込者は修了見込年月），法科大学院名，既修者コース・未修者コースの別及び修了・修了見込の別を記入します。 イ　**【法科大学院コード】欄** 次ページの【法科大学院コード表】から該当するコードを記入します。 ウ　**【既修・未修】欄** 既修者コース・未修者コースの別を下の【既修・未修コード表】から選択し，該当するコードを記入します。 エ　**【修了・修了見込】欄** 法科大学院課程の修了・修了見込の別を下の【修了・修了見込コード表】から選択し，該当するコードを記入します。 なお，受験時ではなく，出願時を基準とします。 **【記入例】** 平成 22 年３月に大学工学部を卒業し，平成 22 年４月に「司法大学大学院法学研究科（法科大学院コード「１６０８」の場合）の未修者コースに入学して，平成 25 年３月に修了見込の場合

既修・未修コード表

既修者コース・未修者コース	コード
既修者コースー法学部系	11
既修者コースー非法学部系	12
未修者コースー法学部系	21
未修者コースー非法学部系	22

修了・修了見込コード表

修了・修了見込	コード
法科大学院修了	1
法科大学院修了見込	2

※既修・未修コードについて

既修者コースー法学部系　：法学部系学部の卒業で，法科大学院の既修者コース
既修者コースー非法学部系：法学部系学部以外の学部の卒業で，法科大学院の既修者コース
未修者コースー法学部系　：法学部系学部の卒業で，法科大学院の未修者コース
未修者コースー非法学部系：法学部系学部以外の学部の卒業で，法科大学院の未修者コース

法科大学院コード表

区分	法科大学院名	コード
1	東北学院大学大学院法務研究科	1101
	東北大学大学院法学研究科	1102
	北海学園大学大学院法務研究科	1103
	北海道大学大学院法学研究科	1104
2	青山学院大学大学院法務研究科	1201
	大宮法科大学院大学法務研究科	1202
	学習院大学大学院法務研究科	1203
	神奈川大学大学院法務研究科	1204
	関東学院大学大学院法務研究科	1205
	慶應義塾大学大学院法務研究科	1206
	國學院大學大学院法務研究科	1207
	駒澤大学大学院法曹養成研究科	1208
	上智大学大学院法学研究科	1209
	駿河台大学大学院法務研究科	1210
	成蹊大学大学院法務研究科	1211
	専修大学大学院法務研究科	1212
	創価大学大学院法務研究科	1213
	大東文化大学大学院法務研究科	1214
	千葉大学大学院専門法務研究科	1215
	中央大学大学院法務研究科	1216
	筑波大学大学院ビジネス科学研究科	1217
	桐蔭横浜大学大学院法務研究科	1218
	東海大学大学院実務法学研究科	1219
	東京大学大学院法学政治学研究科	1220
	首都大学東京(東京都立大学大学院社会科学研究科)	1221
	東洋大学大学院法務研究科	1222
	獨協大学大学院法務研究科	1223
	日本大学大学院法務研究科	1224
	白鴎大学大学院法務研究科	1225
	一橋大学大学院法学研究科	1226
	法政大学大学院法務研究科	1227
	明治学院大学大学院法務職研究科	1228
	明治大学大学院法務研究科	1229
	横浜国立大学大学院国際社会科学研究科	1230
	立教大学大学院法務研究科	1231
	早稲田大学大学院法務研究科	1232

※ 区分ごとの五十音順になっています。

区分	法科大学院名	コード
3	愛知学院大学大学院法務研究科	1301
	愛知大学大学院法務研究科	1302
	金沢大学大学院法務研究科	1303
	静岡大学大学院法務研究科	1304
	信州大学大学院法曹法務研究科	1305
	中京大学大学院法務研究科	1306
	名古屋大学大学院法学研究科	1307
	南山大学大学院法務研究科	1308
	新潟大学大学院実務法学研究科	1309
	名城大学大学院法務研究科	1310
	山梨学院大学大学院法務研究科	1311
4	大阪学院大学大学院法務研究科	1401
	大阪市立大学大学院法学研究科	1402
	大阪大学大学院高等司法研究科	1403
	関西大学大学院法務研究科	1404
	関西学院大学大学院司法研究科	1405
	京都産業大学大学院法務研究科	1406
	京都大学大学院法学研究科	1407
	近畿大学大学院法務研究科	1408
	甲南大学大学院法学研究科	1409
	神戸学院大学大学院実務法学研究科	1410
	神戸大学大学院法学研究科	1411
	同志社大学大学院司法研究科	1412
	姫路獨協大学大学院法務研究科	1413
	立命館大学大学院法務研究科	1414
	龍谷大学大学院法務研究科	1415
5	岡山大学大学院法務研究科	1501
	香川大学大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科	1502
	島根大学大学院法務研究科	1503
	広島修道大学大学院法務研究科	1504
	広島大学大学院法務研究科	1505
6	鹿児島大学大学院司法政策研究科	1601
	九州大学大学院法務学教育部	1602
	熊本大学大学院法曹養成研究科	1603
	久留米大学大学院法務研究科	1604
	西南学院大学大学院法務研究科	1605
	福岡大学大学院法曹実務研究科	1606
	琉球大学大学院法務研究科	1607

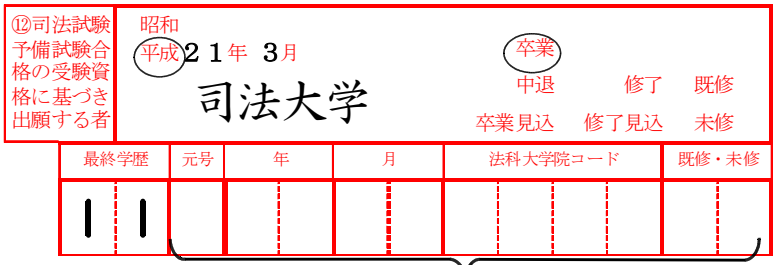
⑪法科大学院受験資格証明

※　「⑨　受験資格等コード」欄に「１」又は「３」を記入した方のみ記入

⑪　法科大学院受験資格証明	**１　受験者ＩＤを記入した場合** 受験願書の「⑬　受験者ＩＤ」欄に，「受験資格確認通知書」（過去の司法試験の受験票とともに送付）又は平成20年以降の司法試験成績通知書に記載されている「受験者ＩＤ」を記入した場合，本欄への記入は不要です。 なお，旧司法試験若しくは司法試験予備試験において受験者ＩＤを取得している方で，過去に司法試験に出願したことのない方，又は，司法試験，旧司法試験若しくは司法試験予備試験において受験者ＩＤを取得している方で，前回司法試験に出願したときと異なる受験資格で出願する方は，取得している受験者ＩＤを記入の上，「受験案内」（３ページ）の「**３　受験資格の証明**」をよく読み，受験資格の証明をしてください。 **２　受験者ＩＤを記入しない場合** これまでに受験者ＩＤを取得していない場合又は「受験資格確認通知書」等の紛失等により「受験者ＩＤ」が不明な場合は，「受験案内」（３ページ）の「**３　受験資格の証明**」をよく読み，下記方法により受験資格の証明をしてください。 **【受験資格の証明について，司法試験委員会が法科大学院に対し，法科大学院課程修了の受験資格の照会を行います（法科大学院課程修了見込であることについても同様です。）。】** 「⑪　法科大学院受験資格証明」欄は，司法試験委員会が法科大学院に照会して受験資格を確認するために必要なものです。所定の欄に正確に記入してください。 照会に同意する場合，「同意」欄に「１」を記入します。 次に，「学籍番号」欄に法科大学院で付与された学籍番号を左詰めで記入します。学籍番号にアルファベットが含まれている場合は大文字として記入し，「－」（ハイフン）が含まれている場合にはハイフンも記入してください。ただし，枠内に入りきらない場合にはハイフンを除いて記入してください。アルファベットと数字が混在している場合，どちらであるか判別できるように丁寧に記入してください。正確に記入しない場合は，法科大学院への照会ができない場合があります。 **【記入例】** 法科大学院の学籍番号が「ａ－０１２３４５」の場合

⑫司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する者

※　「⑨　受験資格等コード」欄に「２」又は「３」を記入した方のみ記入

⑫　司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する者	次のとおり，学歴に関する事項を記入します。 ア　上欄に，最終的に卒業（修了）若しくは中退した又は在籍している学校について学校名を記入し，卒業・卒業見込（修了・修了見込）又は中退した年月を和暦で記入します。法科大学院修了，法科大学院生及び法科大学院中退の方は，既修者コース・未修者コースの別を記入してください。 なお，受験時ではなく，出願時を基準とします。 イ　**【最終学歴】欄** 下の【最終学歴コード表】から選択し，該当するコードを記入します。 ※　法科大学院修了，法科大学院生及び法科大学院中退（最終学歴コード：２１～２５）の方は，以下の項目も記入願います。それ以外の方は必要ありません。 ウ　**【年月】欄** 修了若しくは中退した又は修了見込年月を和暦で記入します。 エ　**【法科大学院コード】欄** ８ページの【法科大学院コード表】から選択し，該当するコードを記入します。 オ　**【既修・未修】欄** 下の【既修・未修コード表】から選択し，該当するコードを記入します。 **【記入例】** 平成21年３月に「司法大学」を卒業した場合  ※　最終学歴が法科大学院（コード：２１～２５）以外の方は記入不要

最終学歴コード表

最終学歴	コード	最終学歴	コード	最終学歴	コード
大学卒業	11	法科大学院修了	21	短期大学卒業	41
大学生（４年以上）	12	法科大学院生（３年次以上） ※	22	短期大学在学	42
大学生（３年）	13	法科大学院生（２年次） ※	23	短期大学中退	43
大学生（２年）	14	法科大学院生（１年次） ※	24	高等学校卒業	51
大学生（１年）	15	法科大学院中退	25	高等学校在学	52
大学中退	16	法科大学院以外の大学院修了	31	高等学校中退	53
		法科大学院以外の大学院在学	32	その他（専修学校，大学校等）	61
		法科大学院以外の大学院中退	33		

※　法科大学院生の年次について

１年次：未修者コース１年目
２年次：未修者コース２年目又は既修者コース１年目
３年次以上：未修者コース３年目以上又は既修者コース２年目以上

既修・未修コード表

既修者コース・未修者コース	コード
既修者コース－法学部系	11
既修者コース－非法学部系	12
未修者コース－法学部系	21
未修者コース－非法学部系	22

※　既修・未修コードについて

既修者コース－法学部系　：法学部系学部の卒業で，法科大学院の既修者コース
既修者コース－非法学部系　：法学部系学部以外の学部の卒業で，法科大学院の既修者コース
未修者コース－法学部系　：法学部系学部の卒業で，法科大学院の未修者コース
未修者コース－非法学部系　：法学部系学部以外の学部の卒業で，法科大学院の未修者コース

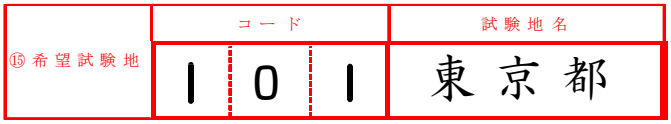
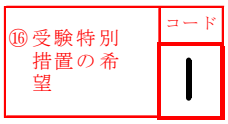
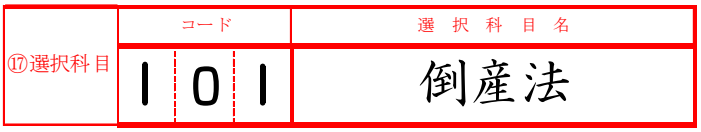
⑬受験者ID　⑭司法試験受験回数

<table>
<tr>
<td>⑬　受験者ＩＤ</td>
<td>「受験資格確認通知書」（過去の司法試験の受験票とともに送付）又は平成20年以降の司法試験成績通知書に記載されている「受験者ＩＤ」を記入してください。
旧司法試験若しくは司法試験予備試験において受験者ＩＤを取得している方で，過去に司法試験に出願したことのない方，又は，司法試験，旧司法試験若しくは司法試験予備試験において受験者ＩＤを取得している方で，前回司法試験に出願したときと異なる受験資格で出願する方は，取得している受験者ＩＤを記入してください。
※　司法試験予備試験合格の受験資格に基づき出願する方（「⑨　受験資格等コード」欄に「３」を記入した方を含む。）は，司法試験予備試験において取得した受験者ＩＤを必ず記入してください。なお，受験者ＩＤが不明な場合は，司法試験委員会に確認の上，記入してください。
法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方で，受験者ＩＤが不明な場合は，司法試験委員会への確認は不要ですが，再度の受験資格証明が必要となります。「⑪　法科大学院受験資格証明」欄を記入してください。
【記入例】
受験者ＩＤが「１２３４５６７８９０１」の場合
<table>
<tr><td>⑬受験者ＩＤ</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td><td>1</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>⑭　司法試験受験回数</td>
<td>１　「司法試験受験回数」欄
今回の出願の根拠となる受験資格において，受験回数制限の対象となる試験を受験した場合にはその回数を，受験したことがない場合には「０」を記入します。
今回（平成 25 年司法試験）の回数は含まれません。受験回数については，「受験案内」（12 ページ）にある「参考3　受験資格確認フロー」で確認してください。
２　「１回目」「２回目」欄
「回数」欄に記入した試験について，「元号」欄に「H」を，「年」欄に受験した試験の年を，「コード」欄に下の【試験種別コード表】から，該当するコードを選択し，それぞれ記入します。
【記入例1】
法科大学院課程修了の受験資格に基づき出願する方で，平成21年度旧司法試験と平成22年司法試験を受験した場合
<table>
<tr><td rowspan="2">⑭司法試験
受験回数</td><td>回数</td><td rowspan="2">１回目</td><td>元号</td><td>年</td><td>コード</td><td rowspan="2">２回目</td><td>元号</td><td>年</td><td>コード</td></tr>
<tr><td>2</td><td>H</td><td>2 1</td><td>0</td><td>H</td><td>2 2</td><td>1</td></tr>
</table>
【記入例2】
受験回数制限の対象となる旧司法試験及び司法試験を受験したことがない場合
<table>
<tr><td rowspan="2">⑭司法試験
受験回数</td><td>回数</td><td rowspan="2">１回目</td><td>元号</td><td>年</td><td>コード</td><td rowspan="2">２回目</td><td>元号</td><td>年</td><td>コード</td></tr>
<tr><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

試 験 種 別 コ ー ド 表

試 験 の 別	コード
旧 司 法 試 験	0
司 法 試 験	1

⑮希望試験地　⑯受験特別措置の希望　⑰選択科目

⑮　希望試験地	受験を希望する試験地について，下の【試験地コード表】から一つ選択し，該当するコード及び試験地名を記入します。 **【記入例】** 「東京都」試験地での受験を希望する場合 
⑯　受験特別措置の希望 （該当者のみ）	視覚障害，肢体障害，その他身体に障害等があるため受験特別措置を希望する場合は，本欄に「１」を記入します。希望しない場合は記入は不要です。 なお，本欄に記入した場合は，「受験案内」（７ページ）の「**第７　身体に障害や傷病等がある場合の受験特別措置**」をよく読み，司法試験身体障害者等受験特別措置申出書及び障害や傷病の程度を証明する書類等を受験願書と一緒に必ず提出してください。 **【記入例】** 受験特別措置を希望する場合 
⑰　選択科目	論文式試験の選択科目のうち，受験する科目について，下の【選択科目コード表】から一つ選択し，該当するコード及び選択科目名を記入します。 なお，出願後の選択科目の変更はできません。 **【記入例】** 選択科目として「倒産法」を希望する場合 

試験地コード表

試験地	コード
東京都	101
大阪市	102
名古屋市	103
福岡市	104
仙台市	105
札幌市	106
広島市	107

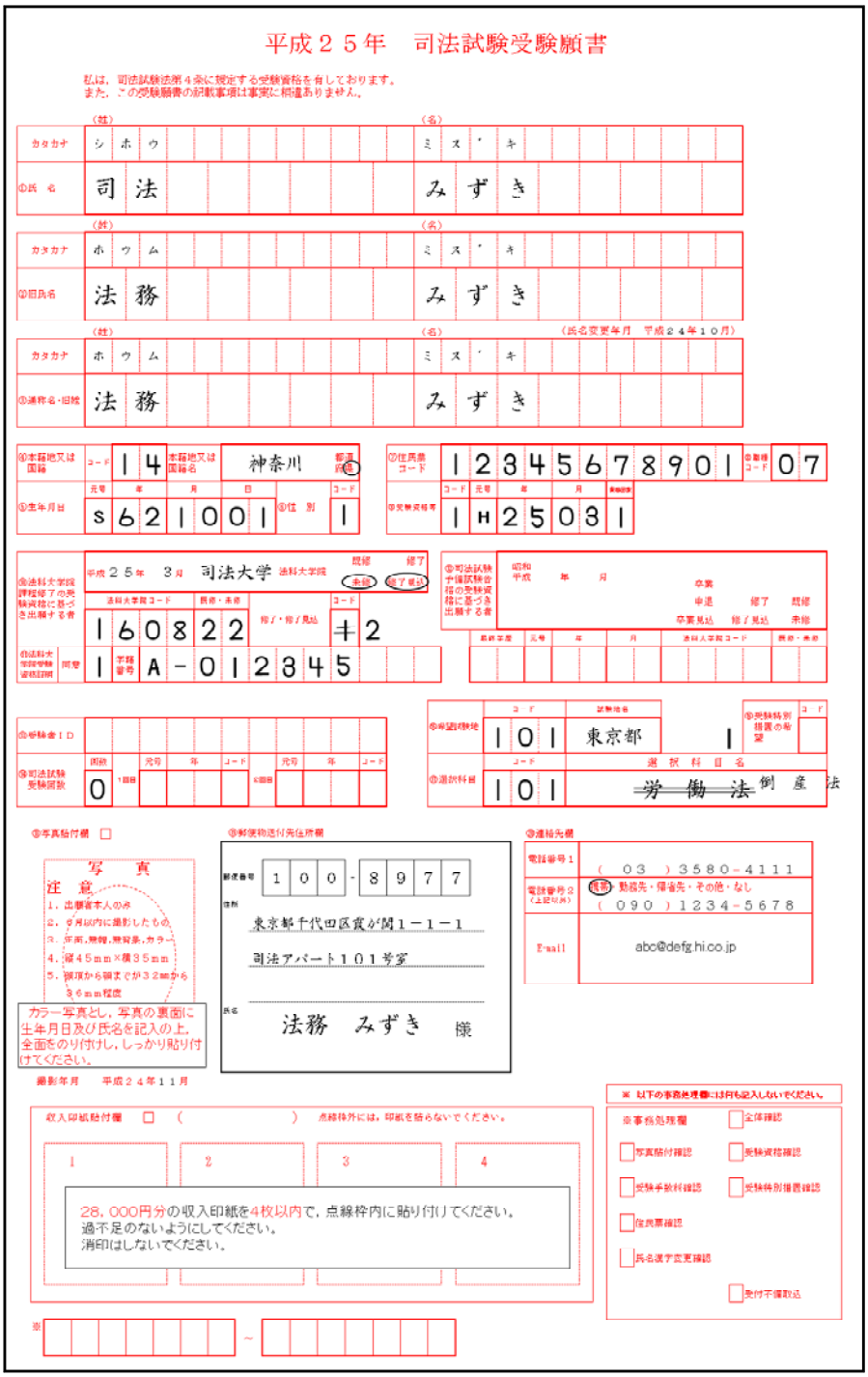
選択科目コード表

選択科目	コード
倒産法	101
租税法	102
経済法	103
知的財産法	104
労働法	105
環境法	106
国際関係法（公法系）	107
国際関係法（私法系）	108

⑱写真貼付欄　⑲郵便物送付先住所欄　⑳連絡先欄

<table>
<tr><td>⑱　写真貼付欄</td><td>「受験案内」（１ページ）の「２　提出書類」に従い，写真を貼り付け，撮影年月を記入します。
写真の裏面に氏名及び生年月日を記入の上，全面をのり付けし，しっかり貼り付けてください。
※　写真は出願前６月以内に撮影されたカラー写真とし，機械で読み取りますので，不鮮明なものなど，受験写真として不適当なものは差し替えをお願いすることがあります。</td></tr>
<tr><td>⑲　郵便物送付先住所欄</td><td>司法試験委員会から送付する郵便物の送付先住所を記入します。なお，受験票等の郵便物は全て平成 25 年４月以降に送付します。住民登録をしている現住所でなくてもかまいません。ただし，日本国内の住所に限ります。
※　本欄は機械で画像を読み取り，郵便物の送付先としてそのまま使用しますので，楷書で，濃く丁寧に記入してください。また，アパート名，室番号，同居先まで正確に記入してください。
なお，「③　通称名・旧姓」欄に記入した氏名がある場合は，本欄で同じ氏名を使用することができます。
【記入例】
郵便物送付先の宛て名に旧姓（法務みずき）の使用を希望する場合
⑲郵便物送付先住所欄
郵便番号 1 0 0 - 8 9 7 7
住所
東京都千代田区霞が関１－１－１
司法アパート　１０１号室
氏名
法務　みずき　様</td></tr>
<tr><td>⑳　連絡先欄</td><td>司法試験委員会から問い合わせる際に使用しますので，正確に記入してください。
「電話番号１」欄には，自宅の電話番号を記入します（自宅に電話がない場合は，携帯電話番号を記入します。）。
「電話番号２」欄には，電話番号１以外で確実に連絡が取れる電話番号について，該当する項目を〇で囲み，電話番号を記入します。
「E-mail」欄には，E-mailのメールアドレスを記入します。携帯電話のメールアドレスも可。なお，E-mail等のメールアドレスがない場合は，記入は不要です。
【記入例】
⑳連絡先欄
電話番号１：（03）3580－4111
電話番号２（上記以外）：(携帯)・勤務先・帰省先・その他・なし　（090）1234 － 5678
E-mail：abc@defg.hi.co.jp</td></tr>
</table>

収入印紙貼付欄

収入印紙貼付欄	「受験案内」（１ページ）の「**２　提出書類**」をよく読み，受験手数料として**２８，０００円分の収入印紙**（現金・郵便切手・登記印紙・都道府県発行の収入証紙等は不可）を枠内に貼り付けます。 収入印紙の枚数は**４枚以内**とし，貼り付けるときは，剥がれないようにしっかりとのり付けして，点線枠からはみ出さないように注意してください。 金額は過不足のないように注意してください（金額が超過する場合も受理できません。）。また，消印はしないでください。

【受験願書記入例】 平成25年３月に法科大学院（未修者コース）を修了見込で，修了見込時より前２年間における旧司法試験受験歴がない場合